

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年12月13日
【四半期会計期間】	第16期第3四半期（自平成24年8月1日至平成24年10月31日）
【会社名】	サイボウズ株式会社
【英訳名】	Cybozu, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西 端 慶 久
【本店の所在の場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 山 田 理
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 山 田 理
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第15期 第3四半期連結 累計期間	第16期 第3四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自 平成23年 2月1日 至 平成23年 10月31日	自 平成24年 2月1日 至 平成24年 10月31日	自 平成23年 2月1日 至 平成24年 1月31日
売上高 (千円)	3,138,066	3,283,997	4,225,344
経常利益 (千円)	558,547	464,783	666,439
四半期(当期)純利益 (千円)	336,646	236,118	397,985
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	318,533	235,419	382,619
純資産額 (千円)	5,124,659	4,025,107	4,588,752
総資産額 (千円)	6,069,824	5,100,970	5,672,961
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	638.10	489.72	761.06
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	84.4	78.9	80.9

回次	第15期 第3四半期連結 会計期間	第16期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成23年 8月1日 至 平成23年 10月31日	自 平成24年 8月1日 至 平成24年 10月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	142.20	59.01

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第15期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災の復興需要による景気の拡大が期待されているものの、欧州債務問題の長期化に加え、中国をはじめとする新興国の景気減速の影響を受け、今後の動向には予断を許さない状況が続いております。

一方、IT業界においては、自社のコンピュータ機能を外部の専門業者に委託する「クラウドコンピューティング」へ引き続き注目が集まっているのに伴い、外部アクセス用の「モバイル端末」や情報管理のための「セキュリティ」への関心も高まっております。

このような状況の中、当社グループは、引き続き、日本発の高品質なクラウド/SaaS型サービスの提供に注力しております。積極的な投資をおこなってきた当社グループのクラウドサービス「cybozu.com」は、株式会社ノークリサーチが今年実施した「2012年版 SaaS/クラウド市場の実態と中期予測レポート」の「導入済み」および「導入予定」の合計数において、シェア1位を獲得いたしました。また、安心して「cybozu.com」をご利用いただけるよう、複数のデータセンターでのバックアップデータ保管、24時間365日の有人監視体制に継続して取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間の取り組みといたしましては、当社グループのクラウドサービス「cybozu.com」の大規模なアップデートをおこないました。業務アプリ構築クラウド「kintone」に自動バックアップパーツをはじめとした新機能を追加したほか、無料且つ自由にカスタマイズ可能なアプリをダウンロードできる「アプリストア」を公開しております。さらに、パッケージ版のみでの提供だったグループメール共有サービス「メールワイズ」のクラウド版である「メールワイズ on cybozu.com」の販売を開始し、サービスの強化、拡充を図っております。

また、当社グループはクラウドサービス「cybozu.com」を24時間365日安定して運営すること、米国をはじめとする海外企業とのやりとりが増加していることなどを踏まえ、当社グループ内で、これまでよりさらに柔軟な働き方を検討しております。その一環として、新たなワークスタイル「ウルトラワーク」を試験的に実施することといたしました。「ウルトラワーク」とは、チームの生産性を下げないことを条件に、朝、昼、夜といった時間的な制約、オフィス、往訪先、自宅といった場所的な制約に縛られず業務を行うことを認める制度です。製品やサービスを通じて、お客様のワークスタイルを変革する企業を目指すのに先立ち、当社グループ自身が次世代のワークスタイルを模索、実践し、ノウハウを蓄積してまいります。

このような状況下において、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、ガルーンシリーズの売上が前期比プラスで推移したこと等により、連結売上高は3,283百万円（前年同期比4.7%増）となりました。営業利益につきましては、前年同期を上回る投資を行い、人件費や広告宣伝費が増加したこと等により461百万円（前年同期比15.3%減）、経常利益464百万円（前年同期比16.8%減）となりました。また、四半期純利益については、投資有価証券評価損21百万円を計上したこと等により236百万円（前年同期比29.9%減）となりました。

(2) 財政状態

第3四半期連結会計期間末の資産合計は、当第1四半期連結会計期間中に599百万円の自己株式取得を行ったこと等により前連結会計年度末に比べ571百万円減少し、5,100百万円となりました。

負債合計につきましては、未払金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し、1,075百万円となりました。

また、純資産合計につきましては、第3半期連結累計期間に236百万円の四半期純利益を計上したものの、第1四半期連結会計期間中に599百万円の自己株式取得を行ったこと、また剰余金の配当199百万円があったこと等により、前連結会計年度末に比べ563百万円減少し、4,025百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は204百万円です。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,934,280
計	1,934,280

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年12月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	527,578	527,578	東京証券取引所 市場第一部	当社は単元株制度を採用しておりません。
計	527,578	527,578	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年8月1日～ 平成24年10月31日	-	527,578	-	613,810	-	976,765

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成24年7月31日現在の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成24年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 47,881	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 479,697	479,697	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	527,578	-	-
総株主の議決権	-	479,697	-

【自己株式等】

平成24年10月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サイボウズ株式会社	東京都文京区後楽 1丁目4番14号	47,881	-	47,881	9.08
計	-	47,881	-	47,881	9.08

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年8月1日から平成24年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年2月1日から平成24年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,756,902	3,268,727
受取手形及び売掛金	683,318	589,224
有価証券	2,000,000	-
仕掛品	1,668	1,273
原材料及び貯蔵品	15,097	10,894
繰延税金資産	32,481	12,365
前払費用	44,722	54,897
その他	17,156	9,728
貸倒引当金	992	1,874
流動資産合計	4,550,354	3,945,235
固定資産		
有形固定資産	225,245	246,919
無形固定資産		
のれん	4,458	2,637
ソフトウェア	84,339	102,820
ソフトウェア仮勘定	45,580	54,468
その他	8,726	8,654
無形固定資産合計	143,105	168,581
投資その他の資産		
投資有価証券	486,328	443,963
敷金及び保証金	151,875	163,923
繰延税金資産	111,100	111,596
破産更生債権等	3,294	3,410
長期前払費用	4,952	22,012
貸倒引当金	3,294	4,673
投資その他の資産合計	754,256	740,233
固定資産合計	1,122,607	1,155,734
資産合計	5,672,961	5,100,970
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,839	9,606
未払法人税等	124,080	35,817
役員賞与引当金	6,000	-
前受金	571,101	686,429
未払金	227,356	199,968
その他	150,832	144,041
流動負債合計	1,084,209	1,075,863
負債合計	1,084,209	1,075,863

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,810	613,810
資本剰余金	976,765	976,765
利益剰余金	3,622,410	3,659,450
自己株式	599,993	1,199,979
株主資本合計	4,612,992	4,050,046
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	23,827	25,294
その他有価証券評価差額金	413	354
その他の包括利益累計額合計	24,240	24,939
純資産合計	4,588,752	4,025,107
負債純資産合計	5,672,961	5,100,970

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
売上高	3,138,066	3,283,997
売上原価	234,126	255,188
売上総利益	2,903,939	3,028,808
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	755,271	928,846
業務委託費	144,660	118,784
貸倒引当金繰入額	1,159	2,593
のれん償却額	18,526	1,820
その他	1,440,035	1,515,686
販売費及び一般管理費合計	2,359,654	2,567,733
営業利益	544,285	461,075
営業外収益		
受取利息	3,710	2,329
受取配当金	243	162
受取手数料	1,881	1,328
為替差益	5,697	-
還付消費税等	-	10,790
その他	2,740	4,356
営業外収益合計	14,273	18,966
営業外費用		
為替差損	-	12,718
自己株式取得費用	-	2,475
その他	11	64
営業外費用合計	11	15,259
経常利益	558,547	464,783
特別利益		
投資有価証券売却益	9,466	-
関係会社株式売却益	160,488	-
貸倒引当金戻入額	252	-
特別利益合計	170,208	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	21,732
関係会社株式売却損	-	11,395
固定資産除売却損	2,211	12,910
事務所移転費用	3,445	3,890
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,734	-
寄付金	50,000	10,000
減損損失	10,800	-
特別損失合計	85,191	59,927
税金等調整前四半期純利益	643,564	404,855
法人税、住民税及び事業税	145,603	149,597
法人税等調整額	161,314	19,139
法人税等合計	306,917	168,737
少数株主損益調整前四半期純利益	336,646	236,118
四半期純利益	336,646	236,118

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	336,646	236,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	767
為替換算調整勘定	18,074	1,466
その他の包括利益合計	18,113	699
四半期包括利益	318,533	235,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318,533	235,419

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)
減価償却費	165,172千円	188,611千円
のれん償却額	18,526千円	1,820千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月26日 定時株主総会	普通株式	252,182	478	平成23年1月31日	平成23年4月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月20日 定時株主総会	普通株式	199,078	398	平成24年1月31日	平成24年4月23日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

当社は、平成24年2月10日の取締役会において決議された自己株式の取得を行い、この結果第1四半期連結会計期間において自己株式が599,985千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,199,979千円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成24年4月3日をもって、終了しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年10月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年10月31日)

当社グループは、グループウェアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
1株当たり四半期純利益金額	638円10銭	489円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	336,646	236,118
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	336,646	236,118
普通株式の期中平均株式数(株)	527,578	482,154

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年12月13日

サイボウズ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 牧野 隆一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 和充 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の平成24年2月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年8月1日から平成24年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年2月1日から平成24年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の平成24年10月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。